

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

※事務局記入欄

【様式2】

No. C-42

部門名： 地域とともにある学校実践部門	エントリー名： <b>気仙沼市立月立小学校</b>
活動名： <b>地域のでパワーアップ！</b> ～学校と地域の連携強化～	
<b>解決すべき課題：</b> 本校は、山村の自然豊かな環境にあるが、住民の高齢化と地域の産業や伝統芸能の後継者不足が地域の課題となっている。学校に対する地域の期待は大きい、児童数が減少したために複式学級となり、質の高い学習を提供することに苦慮している。それらの課題を解決するために、地域素材や人材等の「地域ので」を学習活動に効果的に取り入れることによって、児童に多様な資質能力を身に付けさせたい。さらに、自然豊かなふるさとに誇りをもち、志をもってよりよいまちづくりにつながる行動ができる児童を育てていきたい。	
<b>目標・方針：</b> 「地域のでと課題を実感し、地域のために行動できる児童の育成」	
1 生活科、総合的な学習の時間等のカリキュラム再構築(PDCA で) ・自然豊かな地域のでと課題を実感できる体験活動を取り入れるとともに、地域素材と人材を積極的に活用することによって、課題解決学習を充実させる。 ・他教科との関連を図るとともに児童の発達段階に合わせた系統性のある学習を計画し実践する。 2 学校全体で地域と関わり、協働で児童を育てる環境を整える。 ・スクールサポーター「こだま隊」との連携を深め、地域と学校が支え合いよりよい学習を行う体制を構築する。 3 本地域に伝わる伝統芸能の継承と地域への貢献 ・教育活動の中に伝統芸能継承の活動を位置付け、全校児童に体感させる。 ・地域のために自分ができることを考え行動する機会を設ける。	
<b>活動内容：</b> 1 気仙沼市危機管理課、NPO 法人「八瀬・森の学校」、リアスアーク美術館、NPO 法人「森は海の恋人」と連携を図り、さまざまな視点で山について学習することで児童は山のでと課題を実感した。そして、土砂災害避難訓練の必要性を感じた児童は、訓練を企画して全校児童で実施した。さらに海側の小学校(気仙沼市立唐桑小学校)の児童と山や海について意見交換をする機会を設けた。(図1) 2 教職員不足を補い、児童に質の高い学習や環境を提供するため「こだま隊」との連携を図った。(図2) 3 2つの伝統芸能「早稲谷鹿踊」と「塚沢神楽」を継続して練習し、東京の「目黒のさんま祭」や市内音楽祭、学芸会で披露し、山のくらしを大切にす本地域の素晴らしさを発信した。また、今年度で51冊目となる敬老帳を全校児童で作成し、地域の70歳以上の方に児童が直接届けた。(図3)	
<b>活動の成果：</b> ・様々な方と関わることを通して、地域にある豊かな自然のよさだけでなく、地域には土砂災害の危険性があることや林業の衰退という課題があることに気づき、自分たちでできることを考え行動に移すことができた。 ・地域の方が得意なことを生かして学習に関わることによって、児童はよりよい学びを得ることができた。さらに、多忙な教員への支援ともなった。 ・児童も教職員も「地域に貢献する」という意識を高めることで、今まで取り組んできた地域に関わる活動に新たな価値を見出すことができ、「敬老帳は感謝の言葉も添えて渡す」など創意工夫を加えた活動ができた。	
<b>アピールポイント (アイデアや工夫)：</b> ・地域との連携の事務的な作業が教職員の負担にならないよう「こだま隊」の隊長がコーディネーターとなり、学校への企画の提案や学校からの協力依頼は電話連絡のみとし、地域の方の派遣体制を整えた。 ・児童や教員の思いを大切し、「やってみたいこと」が具体的な活動につながるよう連絡調整を図った。 ・地域の方に気軽に来校してもらえよう、職員室の明るい雰囲気づくりにつとめた。	

地域のでと課題を実感し、地域のために行動できる児童の育成

**1 カリキュラムの再構築・・・地域のでと課題を実感！！(図1)**

地域の災害について → 地域人材と山歩き → 山についての講話 → 児童企画の土砂災害避難訓練 → 山と海のつながりについて → 海側の学校(唐桑小学校)との対話・交流活動

**2 地域と協働で児童を育てる(質の高い学習をめざして)・・・こだま隊との連携！！(図2)**

こだま隊・地域の異年齢の有志がスクールサポーターとして活動することを目的に、平成30年度に組織さ

生活科のサポート	着衣泳の指導(消防士の保護者)	図書室の環境整備	・体育祭練習補助 ・ミシンの学習補助 ・フットサル練習補助 ・生活科軽トラ市(販売体験)補助 ・学芸会衣装制作 等
----------	-----------------	----------	---

**3 伝統芸能の継承と地域貢献・・・地域のために行動！！(図3)**

**「早稲谷鹿踊」**  
 全校で練習 → 目黒さんま祭で演舞

**「塚沢神楽」**

51冊目  
**「敬老帳」**  
 作成と配付 → 70歳以上の方に児童が直接届ける